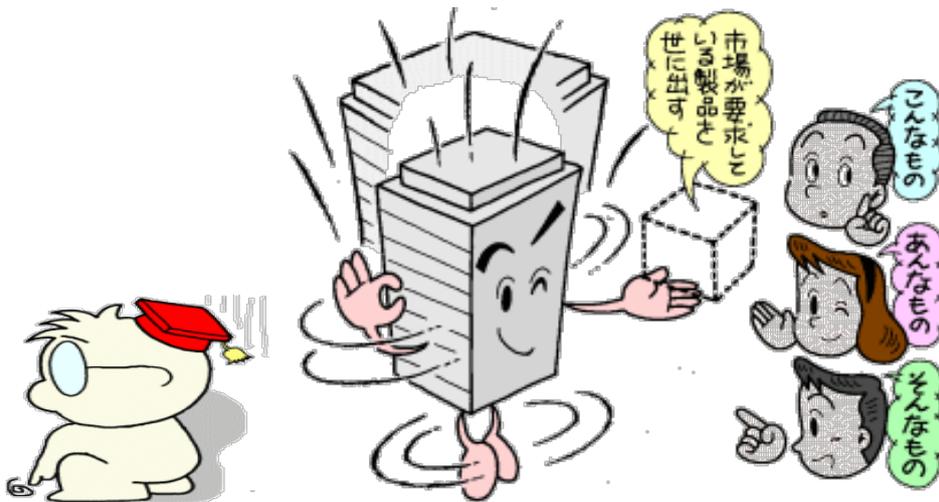


11. 小さな会社だからこそ、出来ることがある

今後は会社が大きいとか小さいとかで評価されないと思う。日本アイアールは、“何が出来るの？何を提案ができるの？”というソリューションが問われる時代になっている。

例えばネット社会の現実を見れば明らかである。小さな会社であろうと、個人であろうと、値打ちのある面白い役に立つ情報を発信していればたくさんの方がアクセスしてくれる。大企業が膨大な金と人手をかけたところで、面白くもなんともない情報であればアクセスはしてこない。自由な発想から生まれる斬新なコンセプトは、大きな組織の中では生まれにくい。だから、小さな組織にもチャンスがある。

都合よく考えれば、エキサイティングな本当に面白い時代を迎えていると思う。時代の変革期には必ずチャンスがある、と信じる。良い時代なのか悪い時代なのかは人それぞれの考え方で決まる。お客が抱えている「課題解決」にお手伝いできれば、日本アイアールは、小さくても生き残れるはずだ。



★何の為に学問するのか、書物を読んでいるばかりでは駄目だ、「事業」をやれ、金儲けでなく社会の為に具体的なことをやれ(吉田松陰)